

2024年3月29日

## パナソニック ホールディングス株式会社と Apollo による パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の株式譲渡契約締結 および共同持株会社設立に関するお知らせ

パナソニック ホールディングス株式会社(以下、「PHD」)と Apollo Global Management Inc.をはじめとするアポロ・グループ(以下、「Apollo」)は本日、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(以下、「PAS」)の株式譲渡契約及び株主間契約を締結し、両社が PAS 事業の戦略的共同パートナーになることに合意しました。

今回の合意に基づき、PHD が現在 100%保有する PAS の全株式を Apollo が投資助言を行うファンドが間接的に保有する新会社(以下、「新 PAS 親会社」)が取得し、PHD は新 PAS 親会社の持株会社(以下、「本持株会社」)の株式の 20%を取得する(以下、「本件取引」)ことで、今後、協働して PAS 事業の経営にあたります。

PAS は、パナソニックグループのオートモーティブ事業を担う事業会社として設立され、国内外の自動車メーカーに対して Tier 1 としてインフォテインメント領域をはじめとする先進技術を提供し、快適で安全・安心な車づくりに貢献してきました。自動車業界の電動車への急激なシフトとともに、車両のアーキテクチャーが大きく変わる中で、今後、更なる強化が求められるソフトウェア開発や電動化への対応が必要となります。PHD は PAS の長期的な成長を図るため、同事業のノウハウと資金リソースを持ち、事業ビジョンを共有できるパートナーを検討していました。

2023年11月にPHDとApolloがPASの事業に関するパートナーシップについての基本合意を公表して以降、PHDとApolloの両社でPASの最適な成長戦略を検討し、本件取引の合意に至りました。今回のパートナーシップにより、PHDとApolloは、それぞれの持つ経営資源、オートモーティブ業界に関する知見、技術や専門的ノウハウ、グローバルのオートモーティブ関連企業に対する投資経験やネットワークを活用し、PASの更なる成長を目指していきます。

PAS は将来の株式上場の可能性を視野に、急速な進化を遂げるオートモーティブ・エレクトロニクス業界で、トップクラスの競争力と経営体質を備えたリーディングプロバイダーとして、より一層の成長と発展を実現していきます。

なお、PHD は引き続き、経営理念を中心とした価値観を共有するパナソニックグループの一員として PAS を支援し、お互いの企業価値最大化に向けて他グループ各社と共に連携を図っていきます。

PHD の代表取締役社長執行役員である楠見雄規は、本件に関し次のように述べています。

「Apollo は PAS がこれまで大切にしてきたお客様や従業員、経営に対する考え方を尊重してくれ

るパートナーであり、今回のパートナーシップにより、PAS はグローバルなトッププレーヤーとしてより一層飛躍することができると考えています。PAS は今後もパナソニックグループの一員として、グループの調達力や基礎研究の分野などで連携しながら、モビリティ社会の進化における重要なプレーヤーとして、お役立ちを果たしてまいります。」

Apollo の日本代表である岡本哲士は、本件に関し次のように述べています。「PAS は、先進的な技術力と優れた品質を有しており、その成長潜在性を高く評価しております。Apollo は日本を代表する大手事業会社との戦略的パートナーシップの豊富な実績を有しており、グローバル自動車セクターへの深い知見及び日本におけるパートナーシップ経営モデルの経験を通じて蓄積した専門知識を活かすことで、本パートナーシップも成功裏に導けると強く信じております。今後は PAS の経営陣・従業員・顧客・サプライヤーの方々および共同パートナーである PHD と共に、自動車向けインフォテインメントシステム及びその他先進技術の長年にわたりグローバルトッププレーヤーである PAS の更なる飛躍の実現に向けて、尽力してまいります。」

PAS の代表取締役社長執行役員である永易正史は、本件に関し次のように述べています。「車載の知見や見識、お客様との強固な関係、素晴らしい人財、PAS には、100 年に一度と言われるこの変革期を勝ち抜けるだけのポテンシャルがあります。Apollo とのパートナーシップを活かして、当社のポテンシャルを最大限に発揮することで、オートモーティブ・エレクトロニクス業界のグローバルトッププレーヤーとなり、お客様と共に、クルマと移動体験に新しい価値を提供してまいります。」

本件取引は、関係当局の承認等を含む一般的な契約上の条件等を満たすことを前提として、2024 年度末までに完了する見込みです。

以上

#### パナソニック ホールディングス株式会社について

1918年に松下幸之助が松下電気器具製作所を設立・創業。株式会社組織となった1935年以降、松下電器産業株式会社、パナソニック株式会社への社名・体制変更を経て、2022年4月1日にパナソニック ホールディングス株式会社を持株会社とする事業会社制(持株会社制)へ移行しました。2022年度のグループ連結売上高は8兆3,789億円で、グローバルに事業を展開しています。

URL: <https://holdings.panasonic/jp/corporate/about.html>

#### Apollo について

Apollo は、高成長を続けるグローバルなオルタナティブ資産運用会社です。イールド、ハイブリッド、エクイティの3つの投資戦略に焦点を当て、投資適格からプライベート・エクイティまでリスク・リターンスペクトラムのあらゆる分野で超過収益を創出することを目指しています。Apollo は30年以上にわたり、統一されたプラットフォームを活用した専門知識によって顧客のニーズに応え、且つ投資先企業の成長を支援する革新的な資本ソリューションを提供してきました。また、リタイアメント・サービス事業であるアテネは、退職貯蓄サービスのソリューション・プロバイダーとして、顧客の経済的な安定の実現を支援しています。Apollo の投資アプローチは、顧客、投資先企業、従業員、コミュニティとのアライメントを有しています。2023年12月31日現在、Apollo の運用資産額は約6,510億ドルとなっています。

URL: <https://www.apollo.com/>, [www.apollo.com/japan](https://www.apollo.com/japan)

#### パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社について

2022年4月1日に設立され、国内外の自動車メーカーにTier1としてインフォテインメントシステムをはじめとする先進技術を提供し、快適で安全・安心な車づくりに貢献しています。2022年度の売上高は1兆2,975億円で、世界22の国と地域で事業を展開する、従業員約3万人のグローバル企業です。

URL: <https://automotive.panasonic.com/>